

[要点]

日本国憲法9条は平和主義を定め、国権の発動たる戦争や武力の行使を放棄すること、陸海空軍その他の戦力を保持しないこと、国の交戦権は認めないことを定めている。1950年の朝鮮戦争を契機に現在の自衛隊の前身である警察予備隊が設置され、またアメリカとの間に日米安全保障条約が結ばれた。核兵器について日本は「持たず、つくらず、持ち込ませず」という非核三原則をとっている。

[要点確認]

日本国憲法9条は()主義を定め、国権の発動たる()や()の行使を放棄すること、陸海空軍その他の()を保持しないこと、国の()権は認めないことを定めている。1950年の朝鮮戦争を契機に現在の()の前身である警察予備隊が設置され、またアメリカとの間に()条約が結ばれた。核兵器について日本は「持たず、つくらず、持ち込ませず」という()原則をとっている。

[問題]

次の各問いに答えよ。

「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる(A)と、(B)による威嚇または(B)の行使は、国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する。」「前項の目的を達するため、陸海空軍その他の(C)は、これを保持しない。国の(D)は、これを認めない。」

- (1) A～Dに適語を入れよ。
- (2) 上の条文は憲法の第何条か。
- (3) この条文は、日本国憲法の基本原則のうちどの原則をあらわしたものか。

[解答](1)A 戦争 B 武力 C 戦力 D 交戦権 (2) 第9条 (3) 平和主義

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 平和主義の基本原則は、日本がある戦争を経験したことがきっかけとなってつくられた。この戦争名を答えよ。
- (2) 「日本国民は、正義と秩序を基調とする(A)を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、(B)を解決する手段としては(C)にこれを放棄する。」
- (3) 核兵器に対して日本は「持たず、つくらず、持ち込ませず」という原則をとっているが、この原則を何というか。

[解答](1) 太平洋戦争 (2)A 国際平和 B 国際紛争 C 永久 (3) 非核三原則

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 1950年の朝鮮戦争をきっかけに占領軍の命令で設置されたものは何か。
- (2) (1)の組織は、今では何と呼ばれているか。
- (3) (2)の組織について、憲法9条第2項の「戦力」にあたるのではないかという意見に対して、政府はどのような見解に立っているか。
- (4) 日本は、防衛政策の一環として、アメリカとの間で条約を結んでいるが、何という条約か。
- (5) 軍隊が勝手に行動しないように、日本は文民統制(シビリアン・コントロール)というシステムを採用している。これによると現在、自衛隊の最高指揮監督権は誰が持っているか。
- (6) 国連による紛争調停活動に対して自衛隊の参加を可能にするために、1992年に制定された法律は何か。
- (7) 2003年に武力攻撃事態対処法、改正自衛隊法、改正安全保障会議設置法が成立した。これらをまとめて()3法という。

【解答】(1) 警察予備隊 (2) 自衛隊 (3) 自衛のための必要最小限度の実力であって、憲法第9条で禁じている「戦力」ではない。 (4) 日米安全保障条約 (5) 内閣総理大臣 (6) PKO協力法 (7) 有事法制関連

[印刷/他のPDFファイルについて]

※ このファイルは、FdText社会(6,600円)の一部をPDF形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版のFdText社会はWord(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※ 弊社は、FdTextのほかにFdData中間期末過去問(社会・理科・数学)(各18,900円)(Word版・一太郎版)を販売しております。PDF形式のサンプル(全内容)は、

<http://www.fdtex.com/dat/> に掲載しております。

下図のような、[FdData無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、Windowsのデスクトップ上にインストールすれば、FdData中間期末・FdData入試の全PDFファイル(各教科約1500ページ)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData(Word版) 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

RunFdData(一太郎版) 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataTAs.exe> 】

※ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd教材開発 : URL <http://www.fdtex.com/dat/> Tel (092) 404-2266】